

心臓CT検査を受ける患者さんへ

心臓CT検査は、主に心臓の血管(冠動脈)を診る検査です。冠動脈疾患が疑われる方、冠動脈治療後の経過観察などに用いられます。従来 of 心臓カテーテル検査に比べて侵襲性が低く、外来で検査が行うことが出来ます。

< 検査の流れ >

1 来院



1 来院 **1時間前までには来院**

造影剤使用のため検査4時間以上前から食事を止めていただきます。水分(水やお茶)は摂っていただいて結構です。

2 血圧、心拍数の測定 βブロッカーの服用



2 血圧、心拍数の測定、βブロッカーの服用

βブロッカーは、一時的に心拍数を下げる効果のある薬です。心臓は常に動いていますが、わずかに静止している時を狙って画像を作成し診断を行います。検査では心拍数が低く安定している程、狙いやすくなります。しかし、服用出来ない場合や服用の必要のない場合があるため、来院後心拍数の測定を行ってから服用となります。βブロッカーの効果は1時間程度してからあらわれますが、個人差があるため、順番の前後や待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。

3 検査準備と移動



3 検査準備と検査室への移動

金属類の着衣がある場合は着替えをして、造影剤を使用するための注射をします。検査室に移動し心電図をとりながら検査を行うため、心電図モニター of シールを胸に貼ります。

4 ニトロペン錠の使用



4 息止めの練習、ニトロペン錠の使用

検査時、何度か呼吸を止めていただきます。長さは10秒程度(場合によっては30秒程度)です。呼吸をしっかり止め、体を動かさないようにしていただかないと診断に十分な静止画像を得ることは出来ません。また、血管をしっかり拡げて診るため、ニトロペン錠を舌下投与します。

5 撮影



5 撮影

造影剤を注入しながら撮影を行います。造影剤を注入する際、かなりの熱感を伴いますが、造影剤の正常な作用ですので慌てずしっかり呼吸を止めてください。

6 検査終了

6 検査終了

画像の確認をして検査終了です。入室から終了までは40分程度です。終了後は食事、入浴など特に制限はありません。造影剤は尿として排泄されるため、水分を多めにとってください。

上記のように検査には患者さんのご協力が必要となります。特に待ち時間が長くなることもあり、ご迷惑をおかけすることもあります。非常に有用な検査ですので皆様のご理解ご協力をお願い致します。

通常 of 解析画像

